

# 歳入

そのお金はどこから入ってくるの？

地方交付税 71億7,300万円 (31.8%)

自治体が標準的な行政サービスを行うために国から配分されるもの

市債 35億2,790万円 (15.7%)

施設の建設や土木工事の経費等を、金融機関などから借り入れるもの

市税 32億1,385万円 (14.3%)

市民税・固定資産税・軽自動車税など

繰入金 24億8,898万円 (11.0%)

収支の調整や特定の事業の財源として基金から取りくずすもの

国庫支出金 24億241万円 (10.7%)

特定の事業の財源として、国・県が自治体に交付する補助金など

県支出金 16億2,685万円 (7.2%)

地方譲与税等各種交付金 10億7,407万円 (4.7%)

国・県が徴収した特定の税収を一定の基準で自治体に交付するもので、地方消費税交付金など

使用料・手数料等 10億4,263万円 (4.6%)

市営住宅家賃や公共施設の利用料、証明書発行手数料など

依存財源：70.1% 自主財源：29.9%

特別会計 84億1,235万円

特定の収入でその支出を賄っているもの

01 国民健康保険特別会計 41億6,916万円

02 後期高齢者医療保険特別会計 6億303万円

03 介護保険特別会計 36億3,919万円

04 香南香美地区障害者自立支援審査会特別会計 97万円

# 企業会計

使用料などの収益でその支出を賄っているもの

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
水道事業会計	6億104万円	5億4,942万円	3億2,973万円	6億8,792万円
農業集落排水事業会計	2億9,515万円	2億9,515万円	2億6,897万円	2億7,831万円
公共下水道事業会計	6億8,044万円	6億8,044万円	4億8,780万円	5億1,064万円

※収益的収支…水道水を家庭へ届けるための費用や下水を処理するための費用に関する収支(水道料金・水質管理費など)  
※資本的収支…上下水道施設の建設・改良などに関する収支

令和5年度

# 予算編成

予算総額

309億6,204万円  
(一般会計 + 特別会計)

前年度比 30億9,345万円 増

市の仕事は広範囲にわたるため、性質ごとに予算を、一般会計・特別会計・企業会計に分けています。一般会計と特別会計の予算は歳入と歳出が同額となるよう編成されています。企業会計は9ページに掲載しています。

一般会計 225億4,969万円

福祉や教育、道路・公共施設等の整備など、市の基本的な事業を行うためのもの

# 歳出

市はどんなことにお金を使う予定？

■普通建設事業費：26億6,537万円増

夜須認定こども園整備事業、津波避難タワー整備事業、防災コミュニティセンター整備事業などにより増額

■補助費等：1億2,267万円増

新型コロナウイルス感染症対策事業費は減額となったものの、燃油・電気料の高騰等による一部事務組合への負担金などにより増額

■物件費：2億8,655万円増

情報システム関係費用や電気料の高騰などにより増額

普通建設事業費 52億9,715万円 (23.5%) 道路や建物などの整備・建設にかかる経費

人件費 45億4,125万円 (20.1%) 職員(会計年度任用職員を含む)の給料や議員報酬など

補助費等 33億8,212万円 (15.0%) 一部事務組合や企業会計、各種団体への負担金・補助金など

物件費 33億517万円 (14.6%) 備品購入費、公共施設の維持管理委託料や光熱水費など

扶助費 25億8,547万円 (11.5%) 生活保護費や医療費、児童手当など

公債費 17億1,134万円 (7.6%) 市債(借金)を返済するための経費

繰出金 11億6,898万円 (5.2%) 特別会計へ支出する経費

積立金 3億6,556万円 (1.6%) 基金(貯金)へ積み立てをするもの

維持補修費等 1億8,515万円 (0.9%) 施設などの維持補修にかかる経費や、貸付金・予備費など

災害復旧事業費 750万円 (0.0%) 災害の復旧にかかる経費

義務的経費：39.2% 投資的経費：23.5% その他の経費：37.3%